

BCG 予防接種説明書

BCG の予防接種は、予防接種法に基づき実施しております。保護者の方は予防効果や副反応についてご理解いただき、お子さんを感染症から守るために予防接種を受けさせましょう。

【対象者】

生後 1 歳に至るまで（1 歳誕生日の前日まで）の間にあるお子さん

【標準的な接種期間】

生後 5 月から生後 8 月に達する期間

【受けるには…】

- 接種場所：市内協力医療機関（別紙一覧）…必ず予約してください。
- 接種回数：1 回
- 料 金：無料
- 持っていくもの：母子健康手帳、予診票（ご記入のうえ）

※何らかの理由より市外の医療機関で受ける場合は、事前に健康増進課までご連絡ください。（健康増進課 予防係 TEL0282-25-3511）

※栃木市から転出をした場合、栃木市発行の予診票は使用できません。転出後に予防接種を受ける場合は、予診票を破棄していただくとともに転出先の自治体へお問い合わせください。

BCG接種の方法は…

管針という器具を上腕の外側の 2 か所に押し付けて接種します（スタンプ方式）。接種したところは直射日光を避けて乾燥させます。

結核とは…

結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。毎年新たに 1 万 8 0 0 0 人程度の患者が発生しており、世界的にみても日本はまだ結核の低まん延国ではありません。

結核菌は主に肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の臓器が冒されることもあり、腎臓、リンパ節、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響が及ぶことがあります。特に、小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な結核につながりやすいため、注意が必要です。

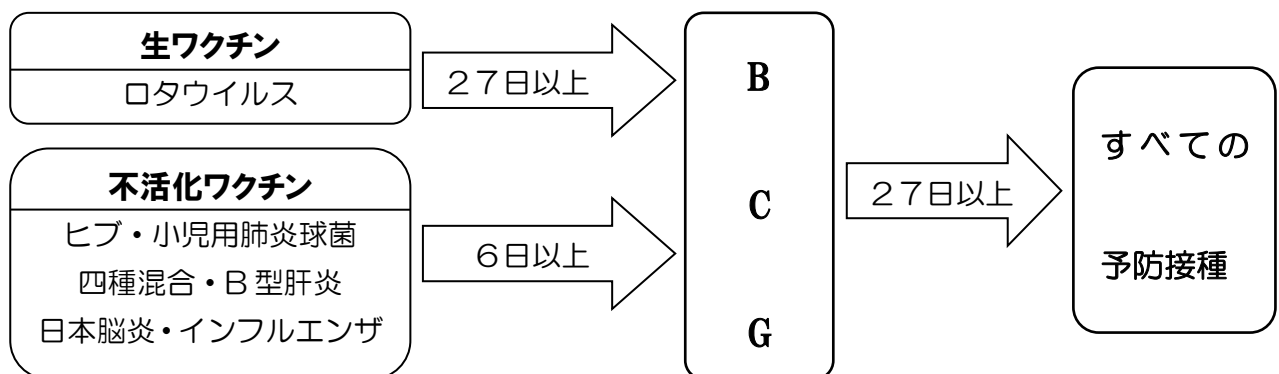
【受ける前の注意点】

- ① 予防接種の説明書や「予防接種と子どもの健康（小冊子）」をよく読み、必要性や副反応等について充分ご理解ください。
- ② 当日は、お子さんの体や衣服を清潔にしてきてください。
- ③ 当日は朝から、お子さんの状態をよく観察しふだんと変わったところがないか確認してください。なお、検温は接種場所で行いますが、できれば数日前から体温を計り健康状態をチェックしておくとういでしょう。少しでもお子さんの体調に不安がある場合は、予防接種を見合わせてください。
- ④ お子さんの体調等がよく分かる保護者の方がお連れください。
- ⑤ 接種を受ける際は、**必ず母子健康手帳と予診票**をお持ちください。なお、予診票は、当日保護者の方がご記入ください。

【受けることができない場合】

- ① 明らかに発熱している場合（37.5度以上）
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③ その日に受ける予防接種の接種液の成分で、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかな場合
- ④ 他の予防接種との間隔が、規定どおりあいていない場合
- ⑤ 外傷などによるケロイドが認められる場合
- ⑥ 免疫に異常のある疾患にかかっている場合や、免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑦ 結核にかかったことがある場合
- ⑧ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

【他の予防接種との間隔】



【医師とよく相談しなくてはならない場合】

- ①心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などの基礎疾患がある場合
- ②今までにけいれんを起こしたことがある場合
- ③今までに免疫の異常を指摘されたことがある場合や、近親者に先天性免疫不全の方がいる場合
- ④ワクチンの成分（培養に使う卵の成分、抗生物質、安定剤など）に対してアレルギーがある場合
- ⑤以前に受けた予防接種で、発熱、発しん、じんましんなどのアレルギーと思われる異常があった場合
- ⑥麻しんにかかり、治ってから4週間以上たっていない場合。風しん・おたふくかぜ・水痘にかかり、2～4週間以上たっていない場合。手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん等にかかり、2週間以上たっていない場合。
- ⑦周囲(家族・友達など)で、感染症の病気（麻しん・おたふくかぜ・風しん・水痘など）にかかっている人がいる場合
- ⑧周囲に結核患者がいて長期に接触があった場合など、結核にかかった疑いのある場合
- ⑨まん延性の皮膚疾患にかかっている場合
- ⑩風邪などのひきはじめと思われる場合。体調の悪い時はなるべく見合わせましょう。

BCG接種の副反応は…

接種局所の反応

接種後 10 日頃に接種したところに赤いポツポツができて、その後一部に小さいうみが出る場合があります。この反応は接種後4週間頃に最も強くなりますが、その後は、かさぶたができて接種後3か月までにはなおり、小さな傷あとが残るだけになります。これは正常な反応で、BCG接種により抵抗力（免疫）がついた証拠です。包帯をしたりバンソウコウをはったりしないで、そのまま清潔に保ってください。

通常より早く、強く接種部位の反応が起こった場合（例：接種後2日で腫れてうみをもち、7日ほどで治ってくる など）はコッホ現象が疑われます。お子さんが結核にかかったことがある可能性がありますので、2～3日以内に医師の診察を受けてください。

副反応

接種したところが、接種後3か月を過ぎてもジクジクしていたり、いったん乾いたのに再びジクジクしたりすることがあります。また、接種をした側のわきの下のリンパ節がまれに腫れることがあります。普通はそのまま様子を見てかまいませんが、大きく腫れたり、化膿して自然にやぶれてうみがでることがあります。このような場合には医師にご相談ください。

まれに起こる重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー、全身播種性 BCG 感染症、骨炎・骨髄炎・骨膜炎、皮膚結核様病変があげられます。

【予防接種を受けた後の注意】

予防接種を受けた後30分間くらいは、お子さんの様子に注意してください。急な副反応はこの間に起こることがあります。

- ・安 静 … 接種当日は安静にして、激しい運動はひかえてください。
- ・入 浴 … 入浴は差しかえありませんが、接種した部位はこすらないでください。
熱があるようでしたらひかえましょう。
- ・副反応… 接種後4週間は、副反応の出現にご注意ください。接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

【予防接種による健康被害救済制度について】

定期の予防接種によってひき起こされた副反応により、医療機関で治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。（予防接種法に基づく定期の予防接種と因果関係がある旨厚生労働大臣が認定した場合）

※給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師、健康増進課へご相談ください。

【お知らせ】

長期にわたる疾病等により、生後1歳に至るまでの間にBCG接種を受けることが難しい場合には健康増進課までご連絡ください。

お問合せ先

保健福祉部 健康増進課 予防係

栃木市今泉町2-1-40（栃木保健福祉センター内）

TEL（0282）25-3511